



創立142周年

# たかくま

学校訓  
仲よく  
かしこく  
たかましく



CS7年目

伊佐市立牛尾小学校 令和6年度 学校だより 2月号

## ここが子供の伸ばし時

校長 仮屋浩一

昨年未だに、3年生のAさんとBさんが、私のところにやってきました。「校長先生！ぼくたちのダンスを見に来てください！」と言うのです。そういえば、その1週間前に「今体育でやるダンスの曲が決まりました！」と廊下で私に話しかけてくれた3・4年生でした。「どんな曲なの？」ときいたら、「秘密です！」と言われたので、「じゃあ完成したら見せてね。」とお願いをしていたのです。それを覚えていてくれたのでしょう。すぐに体育館に行くと養護教諭のH先生、事務職員のF先生、特別支援学級のM先生、K先生までいます。担任の先生は、「お見せするような完成度ではないのですが…」と大変恐縮されていました。一つのストーリーを3つの場面に分けたことや、自分たちで振付を考えたという子供たちの説明を受けました。そして、ダンスを見ました。もちろんプロダンサーではないので動きは小学生のそれなりですが、なかなかの上手さでした。そして、自分たちで工夫をしたことはよく伝わってきました。何よりみんな自信満々で踊っていました。

私の知る限り20年ぐらい前から、「自己肯定感」、「自己有用感」という言葉をよく耳にすることが多くなりました。これらの言葉を簡単に言うと、「自分のことが好きである」とか、「自分は役に立っている」という感情です。この気持ちをもっている子は、自信があり、チャレンジすることにも躊躇しません。しかし、この気持ちはその子自身だけの力でもてることはありません。周りから「よくがんばってるね。」「すごいね。」という前向きな言葉かけが必要です。本気でほめることで、「自分がかんばっているんだ、認めてもらえてるんだ」という感情になるのです。ただ気を付けないといけない点もあります。例えば、縄跳びの二重跳びが以前よりできている子供にとっては、ほめられてもあまり実感はありません。なぜなら、がんばってできたという事実がないのにほめられているからです。子供をほめるポイントは、進歩の状況や努力の様子を時間軸で捉えることです。それには、子供の今の状況、以前の状況を知らなければなりません。子供を伸ばすには叱咤激励するという方法もありますが、やはり「ほめて伸ばす」という方が効果があるということも聞きます。ただし、それには、闇雲にほめるよりも、子供の様子を把握して「ほめる」ことが大切です。

さて、前述の3・4年生は、発表が終わった後も自分たちはがんばったという満足感を感じていました。ここは間違いなく「ほめ時」です。一緒に見ていた数人の先生と「すごい！！」と大いにほめたのは言うまでもありません。（子供たちの照れくさそうな笑顔もすてきでした。）

## [ 2月の主な行事予定 ]

- 2月5日(水) 牛尾小新1年生一日体験入学
- 8日(土) 土曜授業・青少年体験活動
- 12日(水) ぴよんぴよんカップ(縄跳び)
- 17日(月) 授業参観・学級PTA  
第2回学校保健委員会  
第5回学校運営協議会
- 27日(木) 新旧専門部会・役員会

※  
変更現時点での  
予定もあります。  
変更になる場合  
もあります。

## [ 3月の主な行事予定 ]

- 3月7日(金) お別れ遠足(十首池公園)
- 14日(金) 児童委員会(3~6年)
- 18日(火) 卒業式予行(全学年)
- 21日(金) 卒業式準備(3~5年)
- 24日(月) 卒業式(全学年)
- 25日(火) 修了式・離任式
- 26日(水) PTA主催転退職教職員送別会

### 〈凧上げ大会〉

1月11日(土)にPTAと校区コミュニティ協議会が共催の凧上げ大会が行われました。約40年続いている大会です。今年もデザイン賞と飛行賞を目指し、親子で作成した凧が空高く飛び上がりました。今年、巳年ということでヘビのイラストが描かれた凧が多かったです。また、飛行賞の6年生の凧は、しっかりと風を受けて凧糸2本分ほど遠くまで飛んでいました。

今回の凧上げの様子をMBCラジオで放送しましたので、「radiko」(ラジオが聴ける無料アプリ)でぜひお聴きください。更に、木ノ氏の鬼火焚きについても同日に放送されました。

### 〈子どもの学力を考える会〉

1月17日(金)に第3回子どもの学力を考える会が行われました。今回は、NTT docomoによるスマホ・ネット安全教室(リモート)を開催しました。

1学期は、児童を対象にスマホやネットとどのように関わったら、より安全に利用できるかを学びました。そして、保護者編では、親子でのルール作りについて、ワークシートを活用しながら保護者同士が意見交換を中心に考えることができました。ルールを守るのは難しいことを前提に、ルールを守るために子どもたち自身が考え、工夫をする力を育てる必要があるということがよく理解できました。

### 〈伊佐ふるさと検定〉

1月24日(金)に伊佐ふるさと検定を4~6年生が受けました。事前に練習問題に取り組み、伊佐市の自然や歴史・文化などの知識を広げていきました。見事7人が合格(基礎・応用)することができました。おめでとうございます。これからも伊佐市についての知識を豊かにもち、ふるさと伊佐を誇りに思う気持ちをより一層大きくしてほしいです。

みなさんも下記の問題にチャレンジしてみましょう。

Q1: 伊佐市出身で「天と地と」「二本の銀杏」の作者は?

- ①海音寺潮五郎 ②井上雄彦
- ③榎木孝明

Q2: 伊佐市で一番多く作られているお米の品種は?

- ①あきほなみ ②コシヒカリ
- ③ヒノヒカリ

Q3: 「焼酎」の文字が発見された郡山八幡神社を創建したと言われた人は?

- ①大口廣元 ②菱刈重妙
- ③平田靱負

【答え】

Q1: ① Q2: ③

Q3: ②



## ☆子どもたち・学校の様子(1月末まで)



【始業式】

6年生が今年の目標を堂々と発表したよ!



【振る舞いぜんざい】

安納芋入りのぜんざいを作ったよ!



【鹿児島学力・学習状況調査】

タブレットによる  
CBT実施になったよ!



牛尾小HPに  
アクセス!!